

租税教育実践レポート

わたしたちの生活と税金の関わり

登米市立宝江小学校教諭 6学年 佐藤 日向

実施年月日：令和4年6月14日 24名

1 実践計画・指導のねらい

児童は、5月に「わたしたちの生活と政治」の学習で、税金を納めることが義務であることを学んでいる。聞いたことのある税金について尋ねたところ、消費税や自動車税などが挙げられたが、児童は他にどのような種類の税金があり、集められた税金が、自分たちの生活の中でどのように使われているのかを具体的に知らない。そこで本単元の学習を通して、生活を支える税金の種類、税金の使われ方、税金の重要性について理解し、税金に対する自分の考えを深めさせるとともに、税金の使い道を決める国会議員を選ぶことの重要性についても気付かせたいと考えた。

2 単元構成・実際の指導状況（単元を通した全体の主な学習計画及び教師の指導）

時間	学習内容	主な発問 (○)、こどもたちの反応 (●)、使用教材等 (□)
1	・国会の働きと選挙の仕組みについて理解する。	○ <u>国会の働きについて調べましょう。</u> ● 国会では、予算や法律を決めるはたらきがある。 ● 国会議員は、選挙によって選ばれる。 □ 教科書「新しい社会6 政治・国際編 東京書籍」
2	・税金の種類や使い道について知る。 ・消費税の増税について、自分ならどちらの政党に票を入れるかを話し合わせる。	○ <u>税金について知っていることはありますか。</u> ● 買い物をしたときに消費税がかかる。 ● おうちの人が自動車税を払っていたな。 ● 税金の種類はよく知らない。 ● 税金が生活の中でどう役立っているのか分からない。 ○ <u>増税する政党と、現在の税金の使われ方を見直す政党のどちらに票を入れますか。</u> ● お年寄りを支えるためにも、増税は必要だと思う。 ● 税金は大切だが、消費税を高くすると困る人も出てくると思うので増税しない方がいいと思う。 □ 教科書「新しい社会6 政治・国際編 東京書籍」
3	租税教室 ・身の回りのどのようなところで役に立っているのかを知り、税金の重要性を理解する。	○ <u>税金が使われている施設はどこでしょう。</u> ● 学校、公園、公民館、交番、消防署などの公共施設。 ○ <u>税金がなかったら、どんな暮らしになるのでしょうか。</u> ● 学校に通えない。ごみが回収されない。救急車を呼ぶのにもお金が掛かってしまう。火事が起きても消火されない。 ● 税金がないと困る。 □ DVD視聴「マリンとヤマトの不思議な日曜日」
4	・登米市の収入の内訳や使い道を調べる。	○ <u>登米市の予算や税金の使い道を調べましょう。</u> ● 登米市は、子どもやお年寄り、障がい者に対する取り組みに使う費用の割合が高い。 ● 登米市では、保健や医療関係の充実のための事業や、市民がより生活しやすくなりするための事業がたくさんある。 □ 「登米市の予算とまちづくり（令和4年度当初予算）」
5	・これまでの学習を振り返り、分かったことや大事だと思ったことを絵はがきに表現する。（「令和4年度税に関する絵はがきコンクール」に応募。）	○ <u>税に関する絵はがきを描きましょう。</u> ● 税金の大切さが分かるように呼びかけよう。 ● 税金がなかったらどんな暮らしになってしまうかを想像して描こう。 ● 税金が使われている施設や場面を描こう。

【指導のポイント】<1時間目>

国会では税金の使い道について話し合っていることや、国会議員は国民の投票によって選ばれることをおさえた。

【指導のポイント】<2時間目>

「何となく。」ではなく、なぜその政党を選んだのか、理由を考えさせてから意見交流をした。1時間目の学習にも触れながら、税金の使い道を含めた各政党の主張を知り、よく考えて投票することの重要性について強調した。



【指導のポイント】<3時間目>

税務署の方をゲストティーチャーとして迎え、税の基礎知識について講話をいただいた。DVDを視聴し、税金がないとどうなるかをイメージすることで、より税金の大切さに気付くことができるようにした。

【指導のポイント】<4時間目>

自分たちが住んでいる登米市の予算を調べることで、税金をより身近に感じることができるようになった。

【指導のポイント】<5時間目>

学習したことをもとに、税金の学習で特に大事だと思ったことを表現することができた。完成した絵はがきを見せ合いながら、税金の大切さや学習で分かったことについて意見を交流させた。



3 実践の成果 (◎) と課題 (◆)

- ◎ 単元の学習を通して、税金の重要性を理解し、税金を身近に感じることができた。税金が使われている具体的な場面や自分の市の予算を調べることで、税金を自分事として考えることができた。
- ◎ 租税教室では、税についての知識や使い道などについて小学生にも分かりやすく教えていただいた。1億円のレプリカにも、多くの児童が興味を示していた。
- ◆ どんな種類の税金があるのか、こちらが税の種類を示し説明したが、児童がより主体的に税金について学ぶために、登米市の予算の資料などをもとに、自分が気になる税金について調べ、まとめさせるなどの活動を取り入れればよかったのではないかと考える。